

バックカントリースキーを楽しむために

公益財団法人 全日本スキー連盟

最近広がりを見せているバックカントリースキーですが、このスキーはゲレンデスキーとは異なり、元々は山スキーや山岳スキー、スキー登山と呼ばれていました。圧雪されているゲレンデとは違って自然の雪山を足で登り、自分の判断で滑走するスキーのことです。

こうしたスキーが近年、バックカントリースキーと呼ばれ一般的には気軽にはじめられ、また楽しいというイメージが定着しつつあります。しかし、バックカントリースキーは、こうしたイメージの裏に冬山登山であり、圧雪した雪ではない斜面を滑走することから雪崩の危険や遭難といった危険が伴います。

そのため、バックカントリースキーが可能なスキー場を確認したうえでバックカントリースキーに必要な技術、雪山の知識、そして装備が厳しい環境や事態に対応できるかどうかを確認する必要があります。また、緊急連絡先やメンバー人数等を記入する「ツアー計画書」を提出することは、入山する際のマナーです。

初心者の方は、熟練のガイドの方にお問い合わせするのも安全に楽しむひとつの方法です。楽しいはずのスキーが不慮の事態に遭わないように、もう一度「バックカントリースキー」の背景にあるものを再認識し、安全に楽しんでください。